

景気ウォッチャー調査2月の結果・・・4か月振りに回復ですが

2021年3月19日

先日2月の消費動向調査結果をご紹介しましたが、今日は同じ内閣府が行っている消費動向調査である景気ウォッチャー調査2月の結果をご紹介します。前回ご紹介時にも書きましたが、この景気ウォッチャー調査は、消費動向調査に比べて、高めのDI数値がでていますが、これは設問内容と回答者の構成の差異によるのではないかと考えられます。消費動向調査が消費者の目線での回答が主体であるのに対し、景気ウォッチャーが事業者の目線、つまり売側の目線での回答が主体であるためと考えられます。それでは結果をご紹介します。

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2021/0308watcher/bassui.html>

図表1 景気の現状判断DI（季節調整値）

(DI)	年 月	2020				2021		(前月差)
		9	10	11	12	1	2	
合計		47.8	53.0	43.8	34.3	31.2	41.3	(10.1)
家計動向関連		49.0	54.4	43.2	32.1	28.0	38.9	(10.9)
小売関連		47.0	53.0	43.1	36.0	30.8	40.8	(10.0)
飲食関連		55.0	59.5	34.6	16.1	15.1	31.6	(16.5)
サービス関連		51.5	57.7	45.7	27.1	22.8	35.7	(12.9)
住宅関連		50.5	45.9	43.0	37.4	42.0	44.1	(2.1)
企業動向関連		45.1	50.5	46.0	39.9	39.0	45.8	(6.8)
製造業		48.0	51.0	47.4	45.3	43.7	48.5	(4.8)
非製造業		42.3	49.6	44.7	36.0	35.7	43.6	(7.9)
雇用関連		45.0	49.6	42.6	37.4	34.9	47.3	(12.4)

景気ウォッチャー調査 2021年2月の現況判断

2月の現状判断では、41.3という数字でした。これは昨年10月に53.0と50を超えを記録してから3か月連続で下がり続けていたのが、一転して回復に向かったということになります。傾向そのものは同様ではありますが、数字は下に示す消費動向調査結果とはずいぶん違っています。

第1表 消費者態度指数と消費者意識指標(二人以上の世帯、季節調整値)

	令和2年 (2020年)					令和3年 (2021年)	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
消費者態度指数	29.3	32.7	33.6	33.7	31.8	29.6	33.8
(前月差)	▲ 0.2	3.4	0.9	0.1	▲ 1.9	▲ 2.2	4.2
暮らし向き	31.4	35.1	36.2	36.7	34.9	32.2	36.3
(前月差)	▲ 0.3	3.7	1.1	0.5	▲ 1.8	▲ 2.7	4.1
収入の増え方	32.7	34.8	35.3	35.7	35.0	33.5	35.4
(前月差)	▲ 0.1	2.1	0.5	0.4	▲ 0.7	▲ 1.5	1.9
雇用環境	21.2	26.0	27.1	26.5	23.6	21.1	27.5
(前月差)	▲ 0.5	4.8	1.1	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 2.5	6.4
耐久消費財の買い時判断	32.0	34.9	35.7	35.7	33.8	31.6	36.1
(前月差)	0.4	2.9	0.8	0.0	▲ 1.9	▲ 2.2	4.5
資産価値	33.5	35.9	35.7	36.0	35.6	34.7	40.2
(前月差)	0.3	2.4	▲ 0.2	0.3	▲ 0.4	▲ 0.9	5.5

(注) 消費者態度指数(季節調整値)は、「暮らし向き」、「収入の増え方」、「雇用環境」、「耐久消費財の買い時判断」の4項目の消費者意識指標(季節調整値)を単純平均して算出している。

消費動向調査 2021年2月の調査結果

このDIの計算方法は基本的には消費動向調査と同じですが、設問は違います。また前述したように回答する立場が売る側か買う側かという点も違います。この景気ウォッチャー調査では、2-3か月先の先行きの判断も回答として求めています。その数値、2月はさらにあがりました。

感染者数の減少が続いたこと(すくなくとも2月末まではそうでした)およびワクチン接種が始まることへの期待が、数値を押し上げたものと思われます。

先行き判断DIはなんと50を超えました。これは現況判断が50を超えた昨年10月の先行き判断DIよりも高い数字です。こうした事業者の期待を裏切ることがないよう、再び増加に転じている感染者がきちんとコントロールされ、ワクチンがスムーズに接種されていくよう祈らずにはられません。

図表3 景気の先行き判断D I (季節調整値)

(D I)	年 月	2020				2021		(前月差)
		9	10	11	12	1	2	
合計		47.1	47.7	35.0	36.1	39.9	51.3	(11.4)
家計動向関連		47.5	47.9	33.9	35.3	39.5	51.2	(11.7)
小売関連		46.8	47.7	36.0	36.7	39.7	51.5	(11.8)
飲食関連		49.1	47.2	21.8	29.3	37.5	49.4	(11.9)
サービス関連		50.0	48.7	31.7	33.1	39.0	52.5	(13.5)
住宅関連		40.8	46.3	38.9	38.9	41.5	45.1	(3.6)
企業動向関連		46.1	47.0	38.3	39.0	41.5	51.4	(9.9)
製造業		48.4	47.0	41.1	42.5	43.8	52.0	(8.2)
非製造業		44.1	47.2	35.9	36.5	39.7	51.0	(11.3)
雇用関連		46.9	48.1	34.9	35.2	39.4	51.0	(11.6)

景気ウォッチャー調査 2021年2月の先行き判断